議会改革特別委員会要点記録

○開会日時 令和6年7月16日(火) 午前10時

○場 所 伊東市役所第2委員会室

○出席委員 9名

1番	佐藤 周 君	2番	鈴木 絢子 君
3番	河島 紀美恵 君	4番	大川 勝弘 君
5番	虫 明 弘 雄 君	7番	杉本 一彦 君
8番	四宮 和彦 君	9番	田久保 眞紀 君
10番	犬飼 このり 君		

○欠席委員 1名

6番 篠原 峰子 君

○出席議員 7名

議長	中島 弘道 君	副議長	青木 敬博 君
議員	重岡 秀子 君	議員	村上 祥平 君
〃	杉本 憲也 君	〃	竹本 力哉 君
〃	宮崎 雅薫 君		

○出席議会事務局職員 3名

局長補佐	里見 和彦	係長	福王 雅士
主事	高橋 綾		

○会議に付した事件

- 1 予算・決算の審議・審査方法の見直しについて
- 2 その他協議事項について
 - (1) 今後の協議事項について
 - (2) その他
- 3 その他
 - (1) 次回開催日について
 - (2) その他

○会議の経過概要

○委員長(大川勝弘君)開会する。

○委員長（大川勝弘君）6番 篠原峰子委員から欠席の届出があったので報告する。

○委員長（大川勝弘君）日程第1、予算・決算の審議・審査方法の見直しについてを議題とする。

本日は、前回に引き続き、資料①予算・決算特別委員会の設置に伴う検討事項の精査を行っていきたいと思う。協議については、審査の流れごと各検討事項に関し、お示ししてある委員長案以外の対応案などについてご意見等を伺いたいと思う。なお、特段のご意見等がない検討事項については、委員長案のとおりとさせていただくことをご承知おき願う。

それでは協議に入りたいと思う。まず資料の1ページ目、審査の流れとしては本会議についてご意見等を伺う。発言を許す。

○1番（佐藤 周君）会派で話し合った中で、「設置の時期及び期間」であるが、4年間の議員任期ごとでいいのではないかという話があった。定例会ごとの設置、年度ごとの設置にしなければならないということはないのではないかという話であった。

それと、「委員会の所管」については、分割付託している状況もないことから一般会計のみで進めていけばいいのではないかという意見である。

○7番（杉本一彦君）ここを読み込んでみると「常任委員会改選期等を踏まえた中で、年度ごとに設置する。」としているから、委員改選の2年に1度とするっていうのがここの意見ではないか。年度ごとということであるから。これは確認である。

○委員長（大川勝弘君）ほかにご意見等はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

次に、資料の2ページ目、全体会についてご意見等を伺う。発言を許す。

○1番（佐藤 周君）網かけ部分の「正副委員長の選任」のところだが、ここにある案とすると、委員長には副議長、副委員長には議運委員長を選任とあるが、公平中立な立場でいるべき副議長、議長を補佐する副議長であるかと思うが、あと、議運の委員長は、議会全体の運営を見守るとか仕切る役割であるが、そういう役割のある人が、予算決算審議の特別委員会の委員長になるということがどうなのかという話が会派の中ではあった。では、他にというところでは、今いる3常任委員会の委員長の中から、1人を特別委員会の委員長、もう1人を副委員長にという格好のほうが受け入れやすいかなという意見があった。会派の中ではそういう意見が出た。ただ、議会のルール上その辺が大丈夫なものなのかどうかというところまではちょっと申し訳ない、こちらで調べられてはいない。

まず一つ、公平中立であるべき副議長、議運の委員長がなるのはちょっとどうなのかという話。例えば、単純に言うと、議長が体調を崩したといったときに、副議長は議長の席に座るわ

けである。それがそのまま、特別委員会の委員長の役を務めるのは、なんとなくどうなのかと思うし、副議長が議長の役をやっているから、議運委員長が委員長にっていうのも、公平中立であるべき立場の人がっていうのが引っかかるという意見である。

○委員長（大川勝弘君）暫時、休憩する。

午前10時 5分休憩

午前10時12分再開

○委員長（大川勝弘君）休憩前に引き続き、会議を開く。

この全体会の中で、正副委員長の選任以外でご意見があれば伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

それでは、正副委員長の選任以外は委員長案のとおりとし、正副委員長の選任については、次回の協議事項といたしたいと思うのでよろしく願います。

次に、資料の3ページ目、分科会についてご意見等を伺う。発言を許す。

○1番（佐藤 周君）「分科会での採決」である。案①の、議案の賛否を分科会の意見として委員会に報告、従来どおりの形式を重視して採決をするということではいいのではないかと思う。

○10番（犬飼このり君）私は、分科会での採決はしなくていいのではないかと考えている。

○委員長（大川勝弘君）暫時、休憩する。

午前10時14分休憩

午前10時19分再開

○委員長（大川勝弘君）休憩前に引き続き、会議を開く。

分科会に関し、ほかにご意見があれば伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

続いて、資料の4ページ目、全体会の分科会長報告のところについてご意見等を伺う。発言を許す。

○8番（四宮和彦君）「議場の運用」のところで、分科会長報告は登壇、討論は自席で行うということであるが、討論があるということは、分科会としての結論、賛否が前提としてないと討論のしようがないわけである。そうすると、ここの部分は先ほどの事項と連動してくるわけなので、もし、分科会では採決はしないという話になったら討論ができないという話だろうと思う。その辺はどう調整をするのか。

- 委員長（大川勝弘君）分科会で採決をする方向性になったので、これは大丈夫である。
- 10番（犬飼このり君）分科会が終わった時点での話になると思うが、自分の所管ではない部分、総括質疑みたいなものはどうなったのか。
- 委員長（大川勝弘君）まずは分割付託の解消をメインに、今回の見直しの中では見送らせてもらい、反省点とか変更点に関しては、また別の形で検討するという話になっている。
- 委員長（大川勝弘君）ほかにご意見等はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

最後に、資料の5ページ目、本会議についてご意見等を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

これをもって、協議を終了する。

ただいまの協議により、大方、検討事項については確認ができたところではあるが、意見調整が必要な検討事項もあることから、次回の委員会において、改めて協議を行いたいと思う。

以上で、日程第1、予算・決算の審議・審査方法の見直しについてを終了する。

-
- 委員長（大川勝弘君）日程第2、その他協議事項についてを議題とする。

まず、(1) 今後の協議事項についてである。以前、取りまとめた資料②その他協議事項一覧のうち、常任委員会の同時開催の解消については、当委員会での協議の結果、令和6年6月定例会から解消が図られた。また、最優先協議事項である、予算・決算の審議・審査方法の見直しについても協議が終盤に差しかかってきていることから、本日は、今後協議を行っていきたい事項について、議論していきたいと思う。

それでは、今後協議を行っていききたい事項について、ご意見等を伺う。発言を許す。

- 1番（佐藤 周君）この一覧表で、私たちの会派が上げている1番の「議員定数の見直し」は、他市町の状況を踏まえても進めていってもいい話じゃないかと思う。その結果として、3番の「常任委員会設置数の見直し」というものが必要になれば、それは自動的にというふうに思う。それと、4番の「議会のICT化」に関して、ICT化の前にまだまだペーパーレス化できるところがいっぱいあるだろうというところであり、今現在も、運用としてGメールとかで案内がされているいろんな報告や開催通知などは、別に改めてペーパーでもらう必要はないのではないかということが意見として出ている。

いずれにしても、ICT化ということに関して言えば、当局側と庁舎内の環境が整っていくことが前提となるので、時間がかかる問題ではあると思うが、まずはペーパーレス化ぐらいは

各会派等での申合せとかで進めることによって解消というか、多少でもペーパーレス化が進むのではないかなと思った。

- 8番**（四宮和彦君）我々としては、会派で上げているものが優先順位は高いわけであるが、ただ、取り組むのに、まず取り組みやすいなどという言い方をするとあれかもしれないが、先ほど犬飼委員が言っていた総括質疑の件もあるので、「大綱質疑の在り方」の見直しをまずやったほうがいいのではないかと思う。当然、議案審議をしっかりと深めていくんだということを、我々議員はやっていくべきである。そうすると、今回、分割付託の解消ということで、特に、予算決算審議に関してはしっかりと地方自治法に合わせた形での取組ができるようになってくるわけである。それで、そういう形で特別委員会の設置をするという話になったときに、では予算決算審議の在り方そのものというのをどういうふうに変えていくのかということが次の一手として出てくると思うので、今回、総括質疑については見送りという話になったわけであるから、これを継続的にどうするのかということを考えていくときには、今の綱質疑の在り方自体を見直していくこととセットでやるべきだろうと思う。

そんなに難しい話ではなくて、例えば、綱質疑というのは今、議会を開会して一番最初にやっている話であるが、委員会審査が終わった後に、分科会での審査が終わった後にやっていくというだけで、ただ単に、日程が後に入ってくるというだけの話でしかないわけだから。そうすることによって、綱としてやっていたものがもう少し詳細な内容として、分科会で触れられなかったような問題を再度ピックアップしたりだとかができるわけだから。

そういう点で言うと、綱質疑の在り方というものの見直しと同時に、総括質疑の導入というのを手始めとして今回の改革のことと併せてやるべきなのではないかというふうを考える。

- 委員長**（大川勝弘君）暫時、休憩する。

午前10時28分休憩

午前10時29分再開

- 委員長**（大川勝弘君）休憩前に引き続き、会議を開く。

ほかにご意見等はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長**（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

これをもって、協議を終了する。ただいまの協議に基づき、今後の協議事項については、次回改めて検討したいと思う。

これにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**委員長**（大川勝弘君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(2) その他についてである。当委員会での協議により、先般の6月定例会から、3つの常任委員会が別日での開催となったわけであるが、このことに関し、今後の議会運営に資するためにもご意見等あれば伺いたいと思うが、いかがか。発言を許す。

○**8番**（四宮和彦君）言っても言わなくてもというところはあるが、散々3日制にすると日程が延びてどうか、事務局がもう準備が大変だとかという話だったが、今回3日制となり、私が、総務委員会だったということもあるのかもしれないが、時間的に非常に余裕があり、委員会審査の際にも、質疑準備だとかに非常に余裕を持って取り組めたということがあったので、3日制にしたのが非常に良かったと思った。その辺、皆さんはどのような感想をお持ちだったのかというところを伺いたいと思う。

○**委員長**（大川勝弘君）例えば、委員長報告とかもだいぶ短くなったが、そこも含めて伺いたい。

○**9番**（田久保眞紀君）委員長報告も非常にすっきりして分かりやすかった。多分、事務負担も大分少なくなってよかったのではないかなというふうに思う。あと、無党派も全部見に行くことができるようになったし、特にやりづらくなったと感じるものは、私は特になかったのよかったですと思う。

○**10番**（犬飼このり君）今回、議案がすごく少なかったから、特にすっきりしてると思った。逆に、事務局のほうで、3日制となったことで何か問題があったのかどうかということをお伺いしたい。

○**事務局**（福王雅士君）事務局のほうで何か問題があったかということであるが、問題という点では、我々のほうではなかったと思っている。それよりは、委員長報告が簡略化されたので、その関係で、会期が変わらない中で、最終日に向けての事務局としての準備について、かなり入念にというか充実した時間が取れたと認識している。事務局としても、事務の効率化やほかへの時間が取れたということがありよかったですと思っている。

○**2番**（鈴木絢子君）3日間となり、いろいろと聞くことができよかったですと思う。委員長報告であるが、かなり短くご自身で確認をというような内容になり、登壇してというものであったが、自席でもいいのかなというふうに思った。

○**委員長**（大川勝弘君）その辺については、今回を踏まえ、ちょっとまた事務局や正副議長、正副委員長含めて相談させていただきたいと思う。

暫時、休憩する。

午前10時34分休憩

午前10時40分再開

○委員長（大川勝弘君）休憩前に引き続き、会議を開く。

ほかにご意見等はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）ご意見等なしと認める。

これをもって、協議を終了する。

以上で、日程第2、その他協議事項についてを終了する。

○委員長（大川勝弘君）日程第3、その他を議題といたします。

まず、(1) 次回開催日についてである。日程調整のため、暫時、休憩する。

午前10時41分休憩

午前10時43分再開

○委員長（大川勝弘君）休憩前に引き続き、会議を開く。

次回開催日程については、8月6日（火）午前10時からとすることにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(2) その他について、委員から何かあれば質疑、意見を伺う。発言を許す。

○8番（四宮和彦君）委員会の進め方全般に関してだが、毎回持ち帰り事項が多い気がする。会派を代表して来ている委員の人は、一任されてきて、しっかりとその場で結論を出せるようにしてきていただきたい。結局、同じことを何回も議論しなければいけない。そして、そのたびにまた持ち帰りとなってしまっているのが現状なので、委員として出席している以上は、会派の人たちから一任をもらってきていただいて、ちゃんとその場で結論を出せるようにしていただきたいということを言わせていただく。

○委員長（大川勝弘君）ほかに質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川勝弘君）質疑、意見なしと認める。これをもって、質疑、意見を終了する。

以上で日程第3、その他を終了する。

○委員長（大川勝弘君）以上で日程全部を終了した。

これにて閉会する。

○閉会日時 令和6年7月16日（火）午前10時45分（会議時間24分）

以上の記録を認める。

令和6年7月16日

委員長 大川 勝 弘